



Design

～ 距離を保ちましょう～

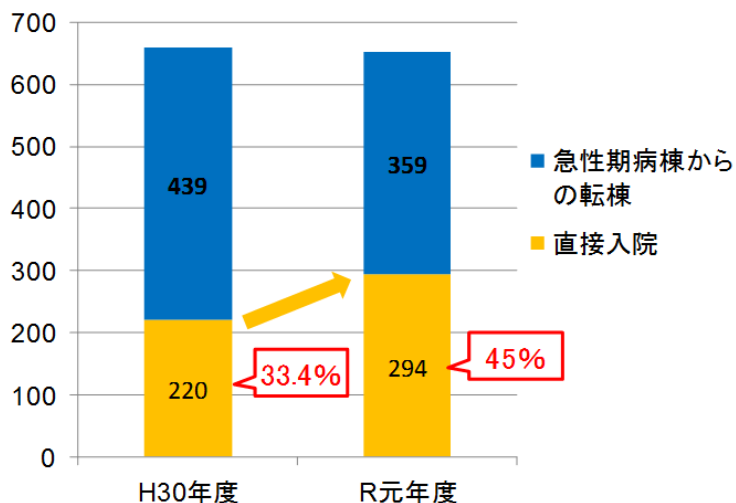


発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域からの受け入れ（サブアキュート）の割合について

～ 地域包括ケアシステム構築のために～

当院地域包括ケア病棟“彩り”は、地域の皆様からのご紹介による受け入れに力を入れています。昨年度は、地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れた患者さん全体の約45%が、地域の皆様からのご紹介によるものでした。また、今年度上半期（4～9月）の実績は、全体の受け入れ総数241名に対し、地域の皆様からのご紹介による受け入れが101名で、約42%となっています。入院のご希望の理由は、介護者負担軽減（レスパイト）やリハビリ、施設入所待ちなど、様々ですが、引き続き、地域の皆様のご期待におこたえできるよう頑張りたいと思います。（南出）

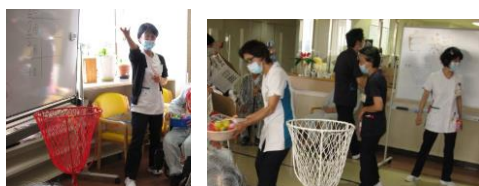


秋の運動会を開催しました。

～ 体を動かす機会に～



10月21日（水）はレクリエーションの一環で、秋の運動会を行いました。会場を彩る国旗は、この日のために患者さんが色を塗って下さったもので、当日はダイルームに飾り付けをしました。メイン競技として、紅白にチームを分かれ玉入れを行い、点数を競い合いましたが、玉入れの玉も一部、患者さんが手作りして下さったものを使用させていただきました。玉入れでは、日頃とは異なる表情で取り組まれている姿が大変印象的でした。4

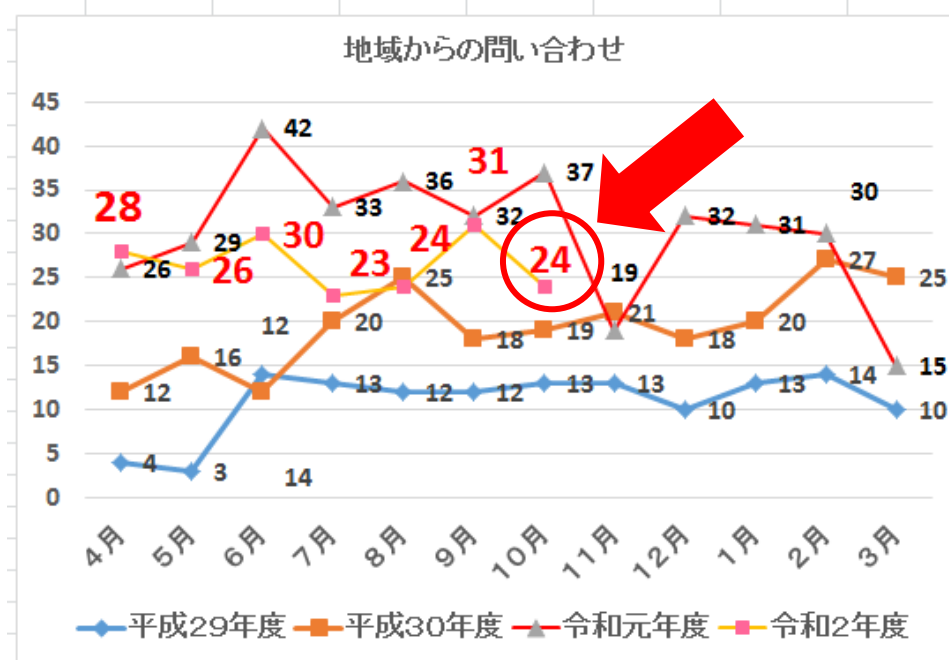


回戦まで行い平均の点数を出し、今回は白組の優勝で終わりました。今後も季節ごとのレクリエーションを行っていきたいと思います。（地域包括ケア病棟 看護師長 吉崎 浩美）

～ 体を動かす機会に～

令和2年10月の問い合わせ状況の報告について

令和2年10月の問い合わせ状況の報告です。10月は24件の問い合わせを頂戴しました。例年のこととなりますが、年末年始も患者様の受け入れをさせて頂いています。お気軽にお問い合わせください。お待ちしております。



地域医療連携室より

～ 紹介・逆紹介の推進について ～

平成29年11月30日、京都府から“地域医療支援病院”の承認を受け、3年です。当院は、“地域医療支援病院”の名の通り、地域医療を支える病院として、地域の医療機関の先生方との連携強化（紹介・逆紹介の推進など）や地域の専門職の皆様を対象とした研修会の実施、地域包括ケア病棟“彩り”を利用した地域からの患者様の受入れなど、様々な取り組みをしています。これらの取り組みは地域の皆様のご支援・ご協力があってこそ実現できるものです。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、令和2年度の診療報酬改定で、200床以上の地域医療支援病院（当院該当）は初診時選定療養費5,000円以上徴収することが義務付けられました。当院でも10月から、初診時選定療養費が5,000円（税別）となりました。日頃から、地域の医療機関の先生方からの紹介で当院を受診される初診の患者様がほとんどですので、大きな混乱はありませんが、他医療機関からの紹介状なしに当院を受診される患者様には、必要に応じて、“かかりつけ医を持つ必要性”について説明しています。また、当院で診させて頂いた後、今後も継続加療が必要な場合には、当院から、お住まい近くの診療所をご紹介（逆紹介）させて頂いています。地域の医療機関の先生方におかれましては、当院との連携についてご意見・ご要望などがありましたらご連絡ください。

地域包括ケアシステムの実現のため、地域医療連携室も微力ながら協力させて頂きたく存じます。引き続き、ご指導賜りますようお願いいたします。（地域医療連携室 室長 南出 弦）